



横浜みどりアップ計画 地域緑のまちづくり事業

R E P O R T

※助成金を活用していない活動も含まれます

六浦台地区 金沢区六浦南3丁目、4丁目の一部

六浦台緑化クラブ

◎取組期間 3 年 ◎協定締結期間 令和 2 ～4 年度 ◎助成金額合計 3,811 千円



団体・地区の概要

六浦台緑花クラブは六浦台団地の管理組合内の組織として居住者を中心に在勤者などで構成しています。緑化によるまちの美化、世代を超えたコミュニケーション、新たな担い手の育成のための活動をしています。

六浦台団地は、横浜市の最南端、六浦台の坂の上に建つ築50年ほどの団地です。最寄りの京急線六浦駅からバス（約10年前に周辺の自治会、町内会と協力して、バス路線を開通させた）で7分ほどの場所にあります。お年寄りの多く住む団地

の外周をバスが通り、私道歩道にはバス停も設置され、西側には緑地が広がっています。また、近隣の小学校へ通う生徒たちの通学路にもなっており、様々な世代が生活しています。

取組(計画)の概要

多くの人の目に留まるような(公共性のある)場所、バス停やバス通り沿い、祭り広場に花壇を新設、プランターを設置し、四季を通して彩のある花を咲かせることによって地域の方々に喜んでもらえるような緑化を行いました。擁壁などを緑化する

ることによってみどりアップをアピールし、団地のシンボルでもある桜17本を景観木として、樹木医による指示のもと、維持管理に努めました。

また、六浦南小学校とのコラボレーションによる講習会やイベントを企画実施し、多くの人たちに緑化活動をアピールするとともに、新たな人材の発掘、育成につなげています。苗床、堆肥、腐葉土を作成し六浦南小学校へ供給しました。広報誌への寄稿や編集、印刷、配布など、様々な形で子どもからお年寄りまでが活動に参加することでコミュニケーションの場を増やしていきます。



横浜みどりアップ計画とは

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を一部財源として活用しながら、「横浜みどりアップ計画」を進めています。

詳細は... [横浜みどりアップ計画](#)



地域緑のまちづくり事業とは

地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、市民との協働により緑化を進めるものです。

詳細は... [地域緑のまちづくり事業](#)





地区の範囲図及び緑化実施場所



バス通りのプランター



子供たちが作り上げたハンキングタワー
「スマイルフラワータウン」



祭り広場の花壇と藤棚



腐葉土で作る堆肥

■ 民有地緑化・景観木保全

計画区域全体の花壇の整備や壁面緑化と維持管理

多くの人の目に留まるような(公共性のある)場所、バス停やバス通扱い、祭り広場に花壇を新設、プランターを4箇所新設し、四季を通して彩のある花を咲かせることによって地域の方々に喜んでもらえる緑化を行いました。また、擁壁などを緑化することによってみどりアップをアピールし、団地のシンボルでもある桜(17本)を景観木として、樹木医による指示のもと、維持管理に勤めています。

■ 地域緑化活動

六浦南小学校とのコラボによる緑化活動と顔の見える街づくり

六浦南小学校に働きかけ、5年生の総合学習の時間を使い、町の緑化活動についてのアイデアを考えていただきました。一緒に作りあげることで、まちの草花を整備している人がいることを知ったり、地域との交流にも繋がるなど、子どもたちの良い経験になりました。また、講習会やイベントを企画実施し、新たな人材の発掘、育成につなげました。様々な形で子どもからお年寄りまでが活動に参加することでコミュニケーションの場を増やしました。

3か年の取組みを振り返って

植え替えをやっていたら通りかかった人がいつもきれいねって声をかけてくれるようになりました。小学校とは手紙を通じてやりとりを始め、出会いのきっかけ作りから子どもたちの一生懸命考えてくれたプレゼンを受けてまとめるまで時間を要しましたが、子どもたちが共同参画したことで、夢やアイデアが詰まった虹(ハンギングフラワー)を具現化できて良かったです。子どもたちからも喜びの声と一緒にお礼のお手紙もいただきました。みどりアップを介して街との繋がり、世代を超えた交流は団地側としても嬉しく、緑化だけでなく得た効果が大きいです。今後もできる範囲で小学校とは連携してやっていくつもりです。